

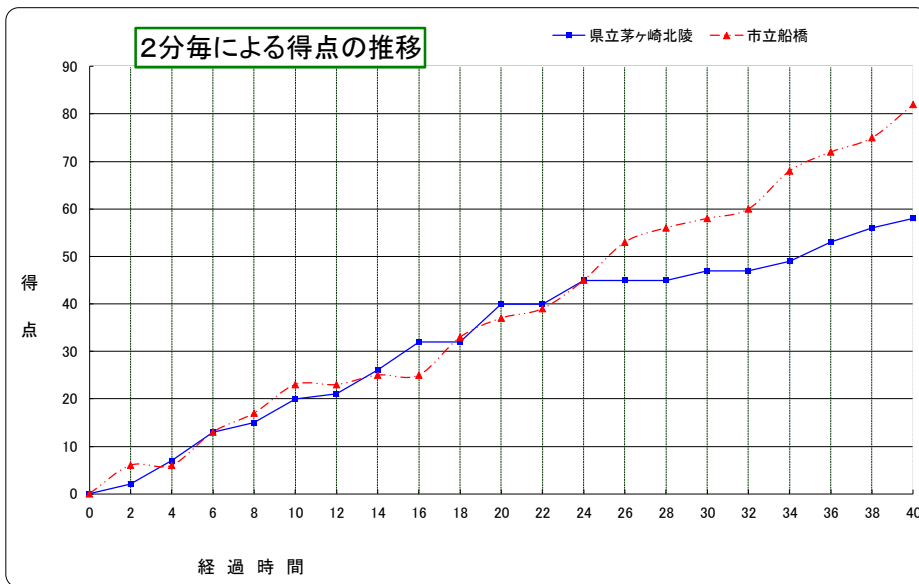
平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月10日(日)
さいたま市記念総合体育館
Bブロック準決勝

チームA			チームB
県立茅ヶ崎北陵 (神奈川)	58	{ 20 1st 23 20 2nd 14 7 3rd 21 11 4th 24 }	82
			市立船橋 (千葉)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	松永 あかね	4	0	0	2	4	0	0	1	1	1	2	3	1	4
5	水上 咲紀	1	0	0	0	0	1	2	3	0	4	0	0	0	1
6	長谷川 菜月	5	1	7	1	4	0	0	4	0	3	1	0	0	6
7	深井 夢	6	2	4	0	1	0	0	0	0	3	1	1	0	2
8	青野 奈菜	17	1	3	6	11	2	4	1	1	6	0	5	0	2
9	今井 千尋	4	0	0	2	3	0	0	4	2	1	1	0	0	2
10	三島 渚	8	0	0	4	8	0	0	3	2	2	0	1	0	2
11	青木 沙也加														
12	奥田 明音	6	2	8	0	2	0	0	1	1	5	1	1	0	4
13	安藤 真弓	7	1	2	2	2	0	0	3	1	0	0	0	0	1
14	安齋 真優	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	大山 真澄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16	太田 菜	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	出川 彩純	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
18	三原 朋美														
コーチ	岡崎 朝夫									0	2				0
		58	7	26	17	35	3	6	20	8	28	6	11	1	26
		確率		26.9%		48.6%		50.0%			計 36				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	倉脇 梢	10	2	5	1	5	2	2	1	0	5	5	4	1	4
5	小亦 晶来	8	0	0	4	10	0	0	0	2	2	1	0	0	0
6	松崎 亜美	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	岡田 彩	10	0	0	4	6	2	3	0	4	0	0	0	1	2
8	高旨 里奈	6	0	0	2	4	2	3	3	0	2	0	1	1	1
9	小島 弥弓														
10	中村 奈津子	4	0	3	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
11	水島 晴香	11	0	0	4	6	3	5	2	1	3	2	0	0	0
12	小林 絵梨子	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	2
13	森 海生香	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
14	佐久間 優芽	2	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0
15	竹田 香歩	16	0	0	7	16	2	2	1	1	2	2	0	0	1
16	小野 菜	10	0	0	4	6	2	2	1	1	6	2	0	0	5
17	齋藤 ちはる	3	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
18	山田 菜摘	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0
コーチ	高松 淳史									0	6				0
		82	3	10	29	60	15	21	9	12	30	13	5	4	15
		確率		30.0%		48.3%		71.4%			計 42				



戦評

第1P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり茅ヶ崎北陵に細かいミスが続くがすぐに修正する。市立船橋は#4倉脇の3P、#15竹田ノシュートなどで得点。対する茅ヶ崎北陵は、#4松永のシュート、#7深井の3Pで対抗。両チーム、メンバーを入れ替えながらも、アウトサイド中心のバランス良い攻めを展開。一進一退の攻防が続き、市立船橋が3点のリードで終える。

第2P、引き続き両チームハーフコートマンツーマンディフェンス。序盤、両チーム共に、オフェンスが慎重になりすぎ、シュートがなかなか決まらず我慢比べの状態が続く。そんな中、市立船橋は、残り4分半のタイムアウトを機にディフェンスを、フルコートゾーンプレスから3-2のマッチアップゾーンに切り替え早い展開にもちこもうとし、リズムをつかみかけたかに見えたが、茅ヶ崎北陵の#18三原が3Pを決めるなど、落ち着いた対応し互角の展開は変わらない。

第3P、序盤、ハーフコートマンツーマンで粘り強く守る全く互角の戦い。ここから市立船橋は、徐々にディフェンスのプレッシャーを強めると共に#5、#11の積極的な1対1からの得点でリズムをつかみ逆転に成功。ここで踏ん張りたい茅ヶ崎北陵だが、肝心なところでミスが続き、ゲームの主導権を握られてしまう。

第4P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンス。茅ヶ崎北陵の新しく入ったメンバーもディフェンスを頑張るが、完全にベースを掴んだ市立船橋の勢いは止められず、点差が広がってしまう。市立船橋の入れ替わったメンバーも積極的な攻めをみせ、相手の追い上げを許さない。

結局、中盤までのせめぎ合いを凌ぎ、ディフェンスから流れを引き寄せた市立船橋が、粘る茅ヶ崎北陵を退け決勝進出を決めた。

記録者：長原 康

Ref	星野 由貴	1st U	伊藤 裕一	2nd U	山崎 雅洋
-----	-------	-------	-------	-------	-------